



平成27年5月14日

各 位

会 社 名 株式会社ダイフク  
代表者名 代表取締役社長 北條 正樹  
(コード番号 6383)  
問合せ先 経本部長 齊藤 司  
(TEL. 06-6472-1261)

### 中期経営計画「Value Innovation 2017」経営目標の修正に関するお知らせ

当社グループは、平成25年2月12日付で公表いたしました4カ年中期経営計画「Value Innovation2017」について、昨今の事業環境の変化に対応して見直しを実施し、平成29年3月期(2017年3月期)を最終年度とする経営目標を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 経営目標の修正

|          | 策定時の目標  | 修正後の目標                        |
|----------|---------|-------------------------------|
| 売 上 高    | 2,800億円 | 3,400億円                       |
| 営業利益率(額) | 7%      | 210億円(平成20年3月期の過去最高益206億円を更新) |
| ROE      | —       | 10%                           |
| 海外売上高比率  | 60%     | 70%                           |

#### 2. 修正の理由

平成26年3月期からスタートし、平成29年3月期を最終年度とする4カ年中期経営計画「Value Innovation 2017」は、主力の一般製造業・流通業向けシステム、自動車・半導体・液晶工場向けシステムを中心として順調に進捗しており、海外での企業買収、円安基調の為替変動もあり、売上高が1年前倒しで策定時の目標を上回ることが、ほぼ確実な状況になりました。

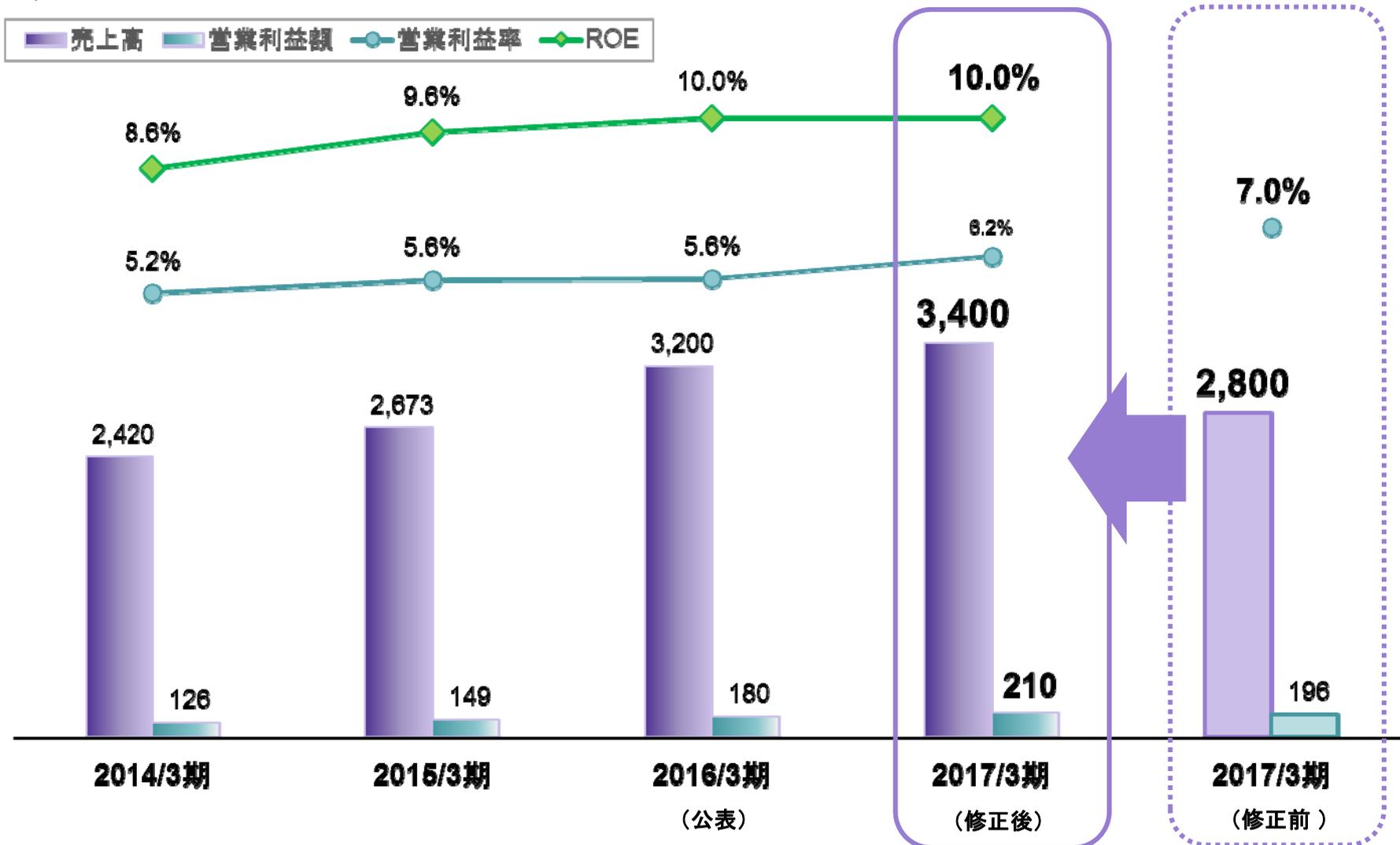
営業利益につきましては、将来を見据えて海外での商量拡大を優先したため、率としては当初目標にやや及ばないものの、過去最高利益額を更新する210億円を目指します。国内において大幅なコストダウンを推進する“構造改革”が奏功しており、この手法を海外に応用することなどで、達成を図ります。

また、当社グループは、多様なステークホルダーの視点に立った経営体制を強化するため、独自のCSRアクションプラン、環境ビジョン等を策定し推進しています。昨今のコーポレート・ガバナンス強化の動きも踏まえ、企業価値増大の指標として、ROE(自己資本純利益率)を新たな経営目標に追加します。

以 上

## 最終年度の目標 ①

- ◆ 売上高 2,800億円 → 3,400億円
- ◆ 営業利益率 7.0% → 営業利益額 210億円(過去最高)
- ◆ ROE N/A → 10%



## 最終年度の目標 ②

